

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 26	「その人らしい穏やかな生活」の情報が不足している入居者もあり、介護計画に活かされていない。	日々充実した生活が送れる。 その人が出来ることを維持することが出来る。	その人の思いや過去の暮らしを本人、家族から再確認し、情報を増やす。 増やした情報をもとにチームでアイデアを出しその人らしい穏やかな生活が送れるような取り組みをする。	12ヶ月
2	2 35	地域密着型施設であるが、地域との関わりが少ない。 他事業所との関わり、連携がなく閉鎖的である 消防訓練を実施しているが、地域住民に周知出来ていない。	地域住民に施設の役割を今以上に認知していただき、地域と連携できる。	地域包括センターとの連携事業を促進する。 地域行事、会議の参加を促進する。 地域貢献、地域連携に向け他事業所との交流や連携の検討を促進する。 運営推進会議で議題であげ、地域の方や地元の消防団の方々に参加してもらえるような訓練が出来るように検討する。	12ヶ月
3	16	災害対策	年2回火災、地震、昼夜想定した防災訓練を行っているが火災、地震のみならず台風・土砂災害などの想定範囲を拡大した実践的訓練を地域住民とともにを行い、地域との連携や協力体制作りを強化していく事を目指す。	入居者ひとり一人の心身の状態を考慮した避難訓練を行い、職員の災害に対する意識を高め、入居者の安全を確保する体制を整え、職員の実践力が身につくようにする。また、運営推進会議において地域住民に災害時の協力体制の再確認と確保を行う。	12ヶ月
4	37	入居者の意見や思いを普段の関りから聞くように努めているが口頭での情報共有はしているも記録に残す事が少なくコミュニケーションが困難な入居者とはあまり出来ていない。	入居者の意見や思いを知ることが出来る。	普段の関りから興味・関心があれば記録に残しミーティングで情報共有を行い実現性の高い事は実施できるように工夫していく。 コミュニケーションの困難な入居者は家族から情報を聞き少しでも日々の生活の中で反応が出るようにする。	12ヶ月
5	47	服薬マニュアルに沿って服薬しているが、入居者の状態により個々に服薬介助法が違うが統一されていないこともありきっちり出来ていないこともある。薬の副作用や効能も全職員周知できていない。	薬の知識を深め服薬ミスをなくすようにする。	定期的にスタッフ同士で服薬マニュアルのロールプレイングを行い流れ作業の習慣にならないようにする。 薬の変更時は与薬管理表を都度更新し誰が何を飲みどのような効能があるか確認出来るようにする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。